

田辺市立明洋中学校 学校だより

◇令和元年度明洋中学校の学校運営方針について

4月に新年度がスタートし、早くも2ヶ月が経過しようとしています。1年生は中学生活に、2・3年生は新しい学年に慣れ、学習や行事、クラブ活動に励んでいます。さて、平成の時代が終わり、令和という新しい時代が始まりましたが、この令和の時代を中心となって今後担っていくのが、今の生徒たちになります。

中学校は生徒たちに対し、将来社会で活躍できる力を育むことが使命だと考えています。教育は人づくりであると言われていますが、将来社会を担う人づくりを進めるためにも、保護者や地域の方々々と連携しながら取り組んで参りたいと考えています。

地域の皆さま方におかれましては、本校の教育活動をご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基盤に「自主・自律・連帯」を校訓として、確かな学力を持ち、人間性豊かで、心身ともに健康な生徒を育成する。

【めざす生徒像】

自主:素直で明るく生き生きとし、自分の意思で生活や進路を切り拓き、自ら求めて学び合い、共に高め合う生徒の育成を目指す。

自律:人間として豊かな心を持ち、自己実現に努力し、自分も他人も大切にできる生徒の育成をめざす。

連帯:自分と他人との関わりを大切にし、権利と義務を自覚し、みんなの願いを実現するために共にがんばる生徒の育成を目指す。

【重点目標】

- 1 自ら求めて学ぶ力を身につけ、学力を向上させる。
- 2 確かな人権認識を身につけ、思いやりのある優しい心を育てる。
- 3 自己の心身の健康に気をつけ、さらにそれを増進する力を育てる。
- 4 価値のある生き方を考え、社会生活で自立できる力を育てる。
- 5 学社融合の視点を大切にし、保護者、地域の人とともに生徒を育て、地域づくりに貢献する。



◇令和元年度明洋中学校の学校運営方針について

本年度から2年間、明洋中学校、田辺第三小学校、芳養小学校の3校は文部科学省の「人権教育総合推進地域事業」の指定を受け、合同で取り組むことになりました。テーマは「自分も人も大切にする児童・生徒の育成」を掲げ、地域や関係機関と連携しながら研究推進を行うことになっています。

「自分を大切にすること」は、命や身体を大切にしたり、基本的な生活習慣や基礎学力をしっかりと身につけることをねらいとして、「人を大切にすること」は集団生活を通して、人との関わり方や正しい判断力や人権認識を身につけることをねらいとして取り組みます。

そして、培った力がさらに充実し、将来社会人になった時、地域・社会を大切に、貢献するような若者になって欲しいと願っています。

今回の研究推進は、「田辺市いじめ問題専門委員会」委員の鳴門教育大学 阿形恒秀 教授のご指導を仰ぎ研究推進をします。来年度の2学期には、3校合同の研究発表会を開催します。

地域の皆さま方におかれましては、3校の児童生徒の取組において、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

また、本年8月に、地域、保護者の皆さま方を対象にした阿形教授の人権教育講演会の開催も予定しています。

公民館だより 令和元年6月号

西部

発行:西部公民館 館長 高地勝司
主事 津田祐司
電話:26-4925 FAX:25-6029
事務所:田辺市高雄一丁目23番1号
市民総合センター内

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市



令和元年度 西部公民館運営協力委員会を開催

5月27日(月)、令和元年度西部公民館運営協力委員会を開催し、今年度の事業計画及び予算について御審議をいただき、承認をいただきました。今年度におきましても公民館事業への御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。今年度の運営協力委員会委員の皆様方は、以下のとおりです。(敬称略)

○西部公民館運営協力委員会 委員(任期1年)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| ◇西部公民館 館長 高地 勝司 | ◇西部町内会連絡協議会 会長 家根谷 寛 |
| ◇生涯学習(人権)推進員 廣岡 勝 湯川 富雄 竹田 充希 | |
| ◇民生委員 加藤 智子(西部地区民生児童委員協議会会長) | |
| ◇補導委員 中嶋 正夫 | ◇交通指導員(西部小隊長) 恵中 一雄 |
| ◇スポーツ推進委員 長野 正 | ◇田辺第三小学校 校長 岡崎 之紀 |
| ◇田辺第三小学校育成会 会長 三栖 秀将 | ◇西部子どもクラブ 会長 小山 祥子 |
| ◇西部老人クラブ 会長 前田 重美 | ◇明洋中学校 校長 高垣 誠 |
| ◇西部センター 館長 田中 和史 | ◇天神児童館 館長 新田 勝久 |
| ◇牟婁保育所 所長 谷川 美幸 | ◇もとまち保育所 所長 池田 眞佐美 |

○事業計画(抜粋)

西部公民館は、地域の少子高齢化が進む中、地域住民の教養や健康増進、住民同士の交流を深める役割を担っています。そのため、当公民館では町内会等をはじめとする地域団体、西部センター、天神児童館等の市の関係団体と連携を図り、様々な事業を展開していきます。また、田辺第三小学校及び明洋中学校との学社融合推進事業を展開することで、西部地域の教育・文化の向上を図るとともに、西部子どもエンパワーメント推進協議会の事業にも積極的に参画していきます。

I 学社融合による地域の活性化

学社融合推進協議会の開催 学校を基盤とした地域住民参加型の授業の開催等

II 地域を支える人材の把握・育成

地域づくりに関わる人づくり 地域で活躍する人づくり

III 人が大切にされる地域づくり

人権課題に関わる学習会の開催

IV 災害に強いまちづくり

防災講演会及び防災訓練の開催



明洋中学校との学社融合の取組1(茶道教室)

去る5月23日(木)、明洋中学校が実施している学社融合の取組の一つである「茶道教室」がスタートしました。

この「茶道教室」は、平成29年度から家庭科部の活動の一環として実施しており、講師には熊野 賀代子先生(江川在住)をお迎えし御指導をいただいています。

今年は、新入生を含む15名の生徒たちが先生から茶道の作法についての御指導をしていただきます。

私自身、初めて茶道を見せていただきましたが、茶道にはお茶をたてるための道具を置く位置や扱い方に至るまで細かなルールがあり、その動きは合理的で流れるように美しいものでした。

また、生徒たちがお茶をたてる場面も見ていただきましたが、これまでに先生から御指導いただいたことを守り、真剣に取り組んでいる様子が印象に残りました。

この「茶道教室」は、今後も毎月1回実施する予定にしております。(津田)



「学び直し」してみませんか？ 放送大学10月入学生を募集中！

放送大学はテレビ・インターネットで授業を行う正規の大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い年代や職業の人達が学んでいます。

大学や大学院の授業を負担の少ない費用で自分のペースで受けることができます。

この機会にあなたも放送大学で学んでみませんか。

～教養学部のご紹介～

- 入学試験はありません。
- 卒業を目指さず、半年だけ在籍、1年だけ在籍も可能です。好きな科目を1科目から学べます。
- 入学資格をお持ちの方は誰でも卒業を目指すことができます。卒業すると学士を取得できます。

学生の種類	入学金	授業料
科目履修生(6ヶ月在学)	7,000円	1科目(2単位) 11,000円
選科履修生(1年間在学)	9,000円	
全科履修生(4年以上在学、卒業を目指す)	24,000円	

★資料を進呈いたします。お気軽にお問合わせください

【出願期間】第1回：2019年6月15日～8月31日 第2回：2019年9月1日～9月20日



資料請求・お問合わせ：放送大学和歌山学習センター

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-20 (和歌山大学松下会館内)

TEL 073-431-0360 FAX 073-431-0311

放送大学ホームページ(<https://www.ouj.ac.jp>) ※「放送大学」で検索!

田辺第三小学校学校だより

新緑の清々しい季節になりました。4月は、家庭訪問や授業参観・育成会総会等にご協力頂きありがとうございました。6年生は、9日・10日と奈良・京都・大阪へ一泊二日の修学旅行に行ってきました。

10日間という長いゴールデンウィークも終わり、子どもたちは心も体もスイッチを切りかえて頑張っています。各学年とも集中して学習に取り組んでいます。

さて、今回は参観日の様子を見ていただきながら学校が目指す方向について、お知らせします。

学校教育目標

『子どもらしさと個性を大切に学ぶ意欲を高め、自ら考え主体的に判断し、行動できる心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな児童の育成をはかる』

以上を実現するために「分かる・できる」授業作りを目指しています。



参観日 分かる・できる授業を目指して



なかよし学級
【国語 詩をつくろう】



1年生
【国語 うたにあわせて あいうえお】



2年生
【国語 春がいっぱい】



3年生
【国語 漢字をたくさん見つけよう】



4年生
【社会 地図帳を活用しよう】



5年生
【国語 なまえつけてよ】



5年生
【算数 体積の求め方の工夫】



6年生
【国語 カレーライス】

田辺第三小学校では、「清心・自立」を校訓とし、

「上の山の子 たくましく すこやかに 一人立ち」を合言葉に、全教育活動で取り組んでいるところです。

めざす子ども像として

- ①じりつ(自立・自律)できる子
- ②何事にも粘り強く取り組む子
- ③人の気持ちが分かる子
- ④人を大切にできる子
- ⑤地域の一員として取り組む子



すなわち、知・徳・体のバランスの取れた児童の育成に向け、《豊かな心》《確かな学力》《健やかな体》《学社融合の推進》を意識しながら、全教職員で取り組んでいます。

「学校で学び、家庭で育て、地域で鍛える」の考えをもとに、保護者・学校・地域が一体となって子ども達を育てている学校づくりを目指してまいりますので、保護者・地域の方々のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。